

■ 取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

安全に使用して頂くため、必ず説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。

また、お読み頂いた後も、この説明書は大切に保管してください。

■ Instruction

Read this instruction manual and make sure you thoroughly understand its contents before using this product.

This product is designed and manufactured for use in Japan only.

We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside

Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan. The importer shall be translate this instruction manual into the appropriate language for the users of this product.

The distributor shall make the users of this product understand the contents of this instruction manual.

■ ご使用前に

- ・本製品は自転車のハンドルに取り付けが可能なバッグです。本来の用途以外に使用しないでください。
(ハンドル、ハンドルステムの形状により取り付けできない可能性があります。)
- ・品質には万全を期しておりますが、使用前に破損が無いか確認してください。
- ・本製品が破損した場合は、使用しないでください。
- ・廃棄の際は各地方自治体の廃棄区分に従ってください。

■ 製品仕様

サイズ：(L)72 x (W)27.5 cm (ドライバッグ) / (L)45 x (W)28 cm (ドライバッグホルスター展開時)

重 量：約 590 g (付属品含む)

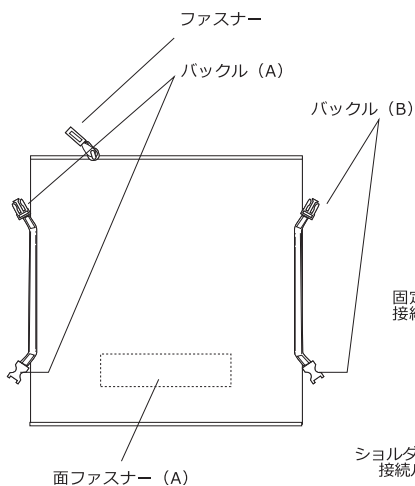
材 質：ナイロン x ポリエステル

耐荷重：約 4kg

原産国：中国

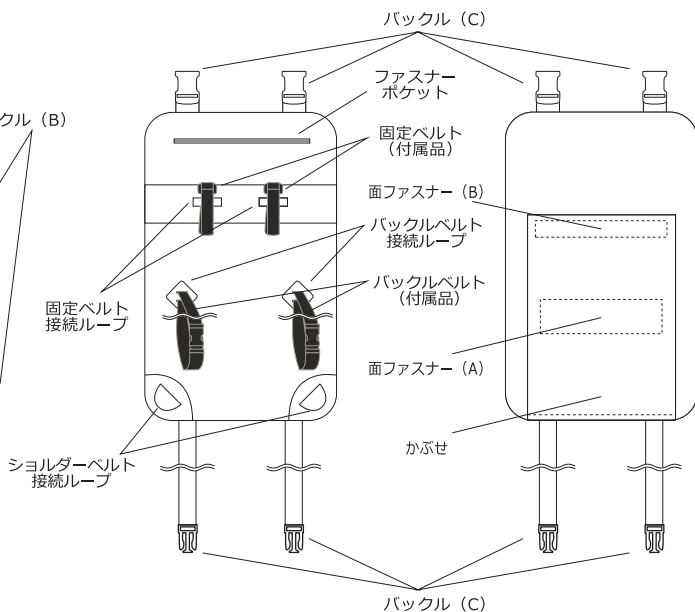
■ 各部名称

ドライバッグ



※ドライバッグは2気室で構成されています。

ドライバッグホルスター



※ドライバッグホルスターのファスナーポケットについて

ショルダーベルトが収納されているポケットです。ドライバッグホルスターを簡易背負子として使用する際、ファスナーポケットからショルダーベルトをショルダーベルト接続ループで固定します。

自転車に取り付ける際はショルダーベルトを収納し、ご使用ください。

■ 付属品



固定ベルト x 2



バックルベルト 2pcs

[ドライバッグホルスターと自転車の取り付け方法]

1. 付属の固定ベルトをドライバッグホルスターの固定ベルト接続ループに通し、ハンドルバー（2点）に取り付けます。
2. 付属のバックルベルトをドライバッグホルスターのバックルベルト接続ループに通し、ハンドルバー（2点）に取り付けてください。バッグ全体をタイヤに干渉しないよう持ち上げてください。

※取り付け前にファスナーポケットに内蔵されたショルダーベルトが収納されているか、ファスナーポケットのファスナーがしっかりと閉めてあるか、バックル (C) のストラップが面ファスナーを用いて垂れ下がらないよう固定できているか確認してください。

[ドライバッグの使用方法]

1. ファスナーを開け、広げた状態で裏面（面ファスナー (A) が付いていない面）に荷物を置きます。または裏面と表面の間に荷物を入れます。
2. ファスナーを閉じ、両サイドから巻き、バックル (A) / (B) でそれぞれ留めます。

[ドライバッグとドライバッグホルスターの固定方法]

1. ドライバッグホルスターのかぶせについている面ファスナー (B) を外します。
2. ドライバッグをドライバッグホルスターとかぶせの間に配置します。
3. ドライバッグ / ドライバッグホルスターの面ファスナー (A) を合わせ固定します。
4. ドライバッグホルスター / かぶせの面ファスナー (B) を合わせ固定します。
5. バックル (C) で固定し、バックル (C) についているストラップで締めます。
6. 余ったストラップ先端をぐるぐる巻き上げ、ストラップの先端に取り付けられた面ファスナーで固定します。



警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行前にならず本製品がしっかりと自転車に固定されているか、走行中に本製品がずれないかを確認してください。
- 走行前にならず各ストラップ、ドライバッグホルスター底面が車輪や自転車可動部に接触していないかご確認ください。
- 走行前にバッグがワイヤーを圧迫し、ブレーキ、変速が効かない可能性がないかご確認ください。
- 自転車に取り付けの際は、定期的にゆるみが無いか、しっかりと固定されているかを確認してください。
- 本製品はハンドルバーの中心にくるように配置してください。
- 自転車に取り付けてご使用の場合はかならずショルダーベルトを収納してご利用ください。
- 耐荷重量を超える荷物をドライバッグに入れしないでください。製品の破損の原因となります。
- 荷物を積んだ時は、積まない時に比べて操縦性が変わる場合があります。
荷物の過積載、偏積載がないようご注意ください。
- 耐荷重量内であっても、長時間の積載や段差の多い場所での走行を行うとバッグが破損、落下する場合がありますのでご注意ください。



注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

- 本製品は完全防水仕様ではありません。長時間の走行や雨量などによっては浸水する場合があります。
- 釘、砂利、ガラス片、金属片など、尖ったものと接触させないでください。
生地破損などの原因となります。
- 製品が濡れた場合は、乾いたタオルなどで水分を拭き取り、直射日光の当たらない場所で十分に乾かしてください。変色や色移り、生地の劣化、カビやニオイの原因となります。
- 本製品または付属品に変色、変形、破損、破れ等の異状がある場合はすぐに使用を中止してください。
- ストーブなどの熱源のそばや、直射日光の当たる場所などに放置しないでください。破損、変形、変色の恐れがあります。
- 乳幼児や小さなお子さまの手の届くところで保管しないでください。窒息の危険がともないます。
- 車体への取り付けの際には、バッグ開口部およびファスナーがしっかりと締められているか、またしっかりと固定されているかを十分にご確認ください。
発進時および走行時にバッグおよび中身が落下し事故を招く恐れがあります。